



第22号

平成27年7月20日発行

発行者 海江田 雅 靖

印刷所 イナガキ印刷

思い出すままに

同窓会会長 海江田 雅靖 (高8)



私が体育科教師として赴任したのが昭和38年4月、まだ木造の校舎で始業の合図もサイレンであった。クラブは陸上部を担当した。グラウンドでは軟式野球・陸上競技・ハンドボール・軟式テニス・バレーボール部がお互いに譲り合いながら練習して実績を上げていた。40年にはサッカー部が同好会として加わり、更にグラウンドが賑やかになった。

41年本校は創立70周年を迎え、記念事業として第2グラウンドを造成することになった。造成工事は陸上自衛隊の施設部隊にお願いした。その為男子寮の2棟あった平屋が隊員の宿舎として使用された。隊員の皆さんの規律ある行動を目にして私も見習わなければと思ったことを思い出す。

造成は重機を使って行われ11月に完成した。40年に校長として赴任された竹田松彦先生は第2グラウンドが出来たら軟式野球部を硬

式にすると言われていた。完成と同時に野球・サッカー・ハンドボール部が第2グラウンドに移り、第1グラウンドのトラックは陸上部専用となった。43年に前田豊先生が赴任されソフトボール部が出来て、44年に正式のクラブとなり第2グラウンドで練習するようになった。もう1つ、第2グラウンドが造成されるまで裏門(現在の東門)から体育館前を通る道路は市道であって農作業に行かれる方や住民の方が自由に通行され、中にはグラウンドの真ん中を通り抜ける人もいた。校内を市道が通っているのはおかしいと竹田校長先生等が働きかけられ、そのご尽力により一般の方は玉金山下の道路を使用していたくことになった。

今回は第2グラウンド造成とそれに伴う道路の変更について私の知っている範囲で書きましたが、もし誤りがあればお許しいただき、訂正をお願いします。

スポーツを通して
社会貢献を

鳥羽瀬 毅 (高54)

私の出身は五和町で、現在天草広域連合消防本部に勤務しています。高校時代は剣道部に所属していました。天草高校OBの方、また剣道部の先輩方多数いらっしゃる中で甚だ僭越ではございますが寄稿させて頂きま

す。

私は、一年間専門学校に通い現在の職に就き11年目を迎えました。職場にも剣道部があり、小中高と続けてきた剣道を今も続けさせて頂いています。毎年、11月には消防職員の大会があり、その大会前には朝8時30分に隔日勤務を終えてから午前中は署

内の訓練及び研修、午後からは部活をと、何か学生時代を思い起こさせてくれる時期となっています。その他にも熊本県下で行われている剣道大会に積極的に出場しています。もちろん試合後は反省会があり、気の合う仲間と酒を酌み交わし、今日の剣道奉行に一喜一憂しながらの楽しい一時を過ごさせて頂いています。そしてまた、多くのことを学び、次の試合にプラスαの仕事への活力となっています。

私は、小学校から始めて22年という長期にわたって剣道をしてきて、また、仕事に就き、家庭

をもった今改めて感じることはありません。それは、今でも続けられていることに感謝すべきであるということ。小中高と親が私たちに剣道をするための防具を与えてくれたということ。指導して頂いた先生方や、優しい先輩方、私に付いてきてくれる後輩がいるということ。私が剣道をしている間(反省会含む)、幼い子供を見守ってくれている妻がいること。いろんな要因が重なり合って剣道が出来ています。

私は今まで私を支えてくれた方々にこれから恩返しをしなくてはなりません。それは地元にいる未来の剣士を育てていくことだと思っています。スポーツは人と人を繋げてくれます。剣道というスポーツを通して地元にご貢献できるよう頑張ります。

天高の四季



大同窓会に参加して

講演

犯罪被害に遭わないために

若松 敏弘(高23)



23 回生 昭和46年度卒の若松です。少し複雑なおちをしておりまして、

長崎で生まれ下浦で育ちました。捜査一課長着任時に一部マスコミに「長崎出身」と書かれてしまいましたが出身は「天草の下浦」です。高校時代は「あまり真面目に学校にも行かずにバイクばかり乗回していたものですが、成績も芳しくなかったのですが素晴らしい恩師や同級生に恵まれ、今も生活や心の支えになってもらっていることに感謝しています。

◎警察官を夢見て

「警視庁に行けば好きな剣道をやりながら夜学に通える」と単純に考え、高校卒業と同時に警視庁に入庁しました。浅草署を振出しに、目黒署、新宿署、機動捜査隊、捜査一課、捜査二課などにその殆どを刑事として勤務し、昨春丸の内署を最後に退官しましたが、その間、様々な事件事故に遭遇しました。

◎捜査第一課長として

平成22年から24年まで約2年間、捜査第一課長として都内で発生する凶悪事件や強烈なマスコミと対峙してきました。捜査一課は、警視庁刑事部に属しており殺人や強盗・放火・誘拐・人質立てこもりなどの凶悪事件を担当し、課長以下総勢4百数十名の精鋭刑事の組織です。昨今では「刑事ドラマ」が盛況のようですが、時々テレビを見るとどこかで聞いたことのある先輩が「監修者」として登場していますのでドラマの殆どは捜査一課の物語だと思っています。

◎犯罪被害に遭わないために

■ご家族やご近所との連携を
都内下町某署管内の高層住宅で夕方火災が発生し布団の中から老女の遺体が発見されました。現場に急行したところ普段着のまままで布団の中で老女が死亡しており、部屋の壁面や家財は焼け落ち、微かな灯油の臭いと老女の死因が一酸化炭素中毒と思われ「殺人だ」と直感しました。が、遺体にも傷も無く「どうやって殺害したのか」と疑問を持ちました。捜査の結果、事件は殺人として解明され解決しました。がこの事件の犯人と被害者の老女とは直接の関係が無く、老女の子供さんを恨んでの犯行でした。もう少し家族の絆が深ければと絆の大切さを痛感しました。

■生活環境の変化への対応を
正月明けの日曜日の正午ごろ、都内有数の高級住宅地で突然訪ねてきた男に老夫婦が襲われ、ご主人が刺殺されるという事件が発生しました。近年、急速に普及した防犯カメラの解析から犯人を割り出し、海外逃亡の直前に逮捕し事件は解決しましたが、この事件の犯人は被害者とは何の面識もない男でした。私も3年前に父を亡くし、葬儀や法要と何度か続けた様に帰郷し、子供が少なくなったことや、老人施設や県外ナンバーの車が増えているようにも思え「天草も変わったな」と感じました。人々を取り巻く環境は日々変化しています。平和で安全な町もいつ、何があるのか分かりません。「何かおかしい、変だな」と思ったから迷わずにご近所や警察に相談してください。

とりとめの無いことを申し上げましたが、猛威を振るっている「オレオレ詐欺」には一人でも対応しないことや「子供は決して一人にしない」ことが地域を挙げての安全への基本です。天草で育てられたことを感謝し、天草で育ったことを誇りに思い、残された人生を精一杯生きてみたいと思っています。

ゴルフの醍醐味

甲斐田 統(高5)

私は昭和25年に入学し昭和28年に卒業した。つまり、第5回卒業生の一人なんです。が在学中は勉強もさることながら野球が大好きで野球にばかり夢中になっていた様な気がします。卒業後も柔道や陸上競技等色んなスポーツを経験して来ましたが一般社会人になってから仕事上ゴルフをせざるを得なくなると、最初はあまり好きではなかったのですが、その中だんだんゴルフの特殊性が判って来ました。つまり「普通の勝負の世界では強い者が勝ち、上手な者が優勝するのが常なんです。ゴルフにはハンデ(フロは別)、と云うのがあって、あまりうまくなくても優勝するチャンスがある事なんです。今回の第9回天草同窓会ゴルフコンペで優勝出来たのも全くこのハンデの御陰なんです。最後に名前が呼ばれたのでビックリすると同時に、何かの間違ひではないかと不思議な気持ちでした。でも、優勝と云う二文字は嬉しいものです。これがゴルフの醍醐味と云うものなのでしょう。それにゴルフの特徴は元気でさえあれば歳をとっても出来ること云々なんです。私も80才なんです。が常々友達と85才迄ゴルフが出来たらいいなあ!と話しています。若い方々もそんな気持ちでゴルフに親しんで頂ければと思います。

最後になりましたが毎回のゴルフコンペ開催に際しましては、賞品の準備やらの運営等には、会長始め執行部の方々には大変お世話様になります。心から御礼を申し上げます。今後共会の継続又発展の為に御尽力賜ります様御願い申し上げます。御礼の言葉と致します。

この街で生きる、この街と共に生きる...

天草では毎年9月に世界中のサンタクロースが一堂に集う「世界サンタクロース会議」が開催され、多くの子供たちに夢と希望を届けてくれます。

私たち天草信用金庫は、子供たちの明日が期待と夢で溢れる毎日になりますよう、明るく豊かな天草を受け渡すべく、この街とともに生きてまいります。



夢・希望・未来

天草信用金庫

〒863-0032 天草市太田町9-3 TEL 0969-24-1177



9月：世界サンタクロース会議in天草

誘導灯

松本 格之祐 (東京・高23)



大同窓会幹事の同期生に誘われ、勤務先の理解も得て11月に天草に戻った。

地元に住していない身としては、同じテールで会話できない同窓生がいるか、一抹の不安がないわけではなかった。しかし、それも杞憂であった。宴が進むにつれて、テールを移動しながら何人もの仲間と近況や

懐かしい話に花が咲いた。また、同期の女性軍の大正琴の演奏も、選曲といい哀愁を帯びた音色といい、とても素晴らしいものだった。プログラ

し、それまでに培った知識・技術を海外で生かす道を選択した。今の私とほぼ同じ61歳の時に私の住む東京で研修を積み、その後、母を天草に残して70歳

大同窓会に参加して

大野 睦子 (高28・原田)



毎年開催されている大同窓会に今回初めて参加させていただきました。準備に参加し、

事学年となり、準備に参加し、大同窓会本番まで数回の会議を重ね、当日の綿密な計画を知ることができました。5年後の大同窓会を盛り上げようと思いま

当日は、受付で懐かしい顔に声を掛け合い、同窓会が始まりました。懐かしい海

言う話に感銘を受けました。懇親会では担当学年のアトラクションを楽しみました。幹事学年は、よく練習されていた素晴らしい大正琴の演奏。私達は、演奏者が生憎欠席のため、高校時代に流行した歌を歌い高校生に戻りました。5才下の準幹事学年は、出し物にも凝って楽しませてもらいました。会が進むにつれて、ご無沙汰している先輩方にも挨拶することができました。5年後幹事学年になりますので、今回の経験を生かし、多くの先輩方にも参加していただけるような会にしたいと思えます。最後に、幹事学年の先輩方、大変お世話になりました。



謝している。

実は大同窓会の日の午前に、小学5年まで御領小に在籍していたこともあってか、五和町コミュニティセンターで地域の方々に話をする機会をいただいていた。拙い話を終えて帰り支度をしている時に年配の女性から30代前半の若い頃の父とお仲間の方々が写っている懐かしい2枚の写真を見せていただいた。父は定年後にJICA(国際協力機構)に登録



らそんなことを考えていた。今後も研鑽して、高校の後輩達の誘導灯にもなることができれば嬉しいのだが。

「犯罪被害を防ぐためには、日頃から近所付き合いをよくしておくこと」「オレオレ詐欺に遭わないためには、家族の絆が大切であること」「天草に育ったことに誇りをもて」と



恩師と私の思い出

滝本先生の思い出



滝本勝輝
先生は、私が天草高校に在籍していた時に最

もお世話になった先生です。といつも担任をしていただいた訳ではありません。担当していただいたのは2年生の時の数学の授業だけです。ただ生徒会の担当もされており、当時生徒会の役員をしていた私は、公私ともにひとかたならぬお世話になりました。あるときは山のように数学の問題を抱え先生の宿に押しかけ、深夜に至るまで丁寧に教えていただいたこともありました。このように指導熱心で情熱にあふれた先生でしたから、生徒にもとても人気があったと記憶しています。

2年生の終わり、先生の最後の授業の時、滝本先生は私たちに後を向かせ、自分の思いを一曲の歌にのせ切々と聞かせてくださいました。最初はあちこちでクスクス笑い声が聞こえましたが、そのうち先生の真剣な想いに触れ、しんと静まり返った教室に、決して上手とは言えない、しかし何とも感情のこもった先生の歌声が響きました。最後

後の方ではどこからかすすり泣く声が聞こえてきたことを確かに覚えています。

私が高校を卒業し大学に合格したあと、熊本市内で夕食をご馳走になったことがありました。そして「成人したら飲もうな」とおっしゃり握手をして別れました。しかしながら、その後今まで37年間、一度もお会いすることなく過ぎてしまいました。天草高校を去られたあと、熊本高校に転勤されたところまでは聞き及んでいましたが、その後とはわからなくなっていました。数年前の同窓会の折、お元気であらわれるとお聞きしました。もしできうるならばもう一度お会いして、当時のお礼とこれまでの私の人生のことなど聞いていただければと切に願っています。

田中 博樹(高30)

矢野紘一先生のこと



高校時代
それはもう45年も前の事になる。

も進学・大学受験と追いつかれていた。余程部活動で頑張るか、優秀な成績をあげない限り、強烈な印象は残っていないし、

先生方との思い出も霞んでしまっている。しかし、1年生の時はまだ余裕があり、友人ともよく遊んでいたように思う。

1年生の担任は矢野紘一先生で、数学担当だった。中学時代の数学は結構好きな教科でそれなりの点数も取れて、何となく自信があった。ところが高校に入ると何故だか急に難しくなり、大の苦手教科となってしまう。中間・期末の定期試験で赤点をとった事はないけれど、毎週毎週の小テストには本当に悩まされた。今思えば、ずいぶん鍛えられたと思う。一冊の参考書を頼りに予習して行くと、先生は見透かした様に「吉田はこん解き

活躍中の恩師

濱崎二丸先生の心に響く至極の名言



先生は3年時の担任で、英語の授業や進路相談で大変

お世話になった。そして卒業後、天草市内で開催されるマラソン大会などのスポーツイベントでお会いすることが多く、今でもよく声をかけていただいている。先生は国内最初のオリンピッククディスタンスで開催された、

方しか知らないとじゃんな。こういう解き方もある事があります。」こんな言い方をされれば、級友にはミエミエである。テストで出来ていない事は、自分が一番良くわかっていて。部活動に逃げ込むと職員室に呼び出されて叱られる事も、一度や二度ではなかった。当時は本当に嫌で仕方なかったのを、今も苦々しく思い出される。しかしそのお陰か、2年、3年は文系に進んだこともあり、平均点以上が取れるようになって安堵したものだ。そんな私も社会に出ると、色々な難題に取り組みねばならない。難しい局面に立たされる事も数回はあった。いけないとわかつ

ていながら、逃げれば済む場合もないではない。しかし、心のどこかで(それでは駄目だ逃げてはいけない!)と叫ぶ昔の自分がいて不思議な力を感じる。何とかして、と少しずつ歩を進める自分がいる。高校時代、嫌でたまらなかった事を頑張って克服できたという自信。これは紛れもなく無理矢理引つ張って頂いた矢野紘一先生のお陰である。逃げ道ばかり作っていた青春時代のひ弱な自分と若々しい矢野先生を、初老にさしかかった私は思い出しています。矢野先生をはじめ、当時のすべての先生方に深くお礼を言いたいと思います。 吉田 憲隆(高23)

天草国際トライアスロン大会の第2回大会に40歳でデビュー。その後20年間続けられ、60歳過ぎてからはエイジ部門に出場。第22回大会で3位、第23回大会で2位、そして65歳の27回大会で第1位に輝かれた。その年の日本トライアスロン連合のエイジポイントでも1位になられ、日本代表として北京の世界選手権大会、翌年にはニュージーランド選手権大会に出場されるなど、素晴らしい成績を残しておられる。平成26年に開催された、第30回記念大会で連続29回出場を果たされた。また、フルマラソンも

42歳からはじめられ61歳まで20年間出場された。「何事も継続は力なりと言われるが、ただ情性で続けていては進歩がなく、歳を重ねても創意工夫と探究心が必要」と先生。まさに、心に響く至極の名言だ。言葉だけではなく行動で私たちに人生の範を示していただいている。現在、天草トライアスロンクラブ会長、天草市トライアスロン協会会長、熊本県トライアスロン連合副会長、天草市水泳協会副会長を務められている。私も先生を見習い、創意工夫と探究心を持って人生というマラソンのゴールを目指して頑張りたい。

渡邊 英人(高33)

面影の中に漂う故郷は

ふるさとから届く 母の小包

濱崎 信也
(東京・高39)

天高を卒業して、東京の大学へと進学し、東京で就職して今年で28年になる。荅北にある実家は、今年で80になる母と、8つ上の兄の2人暮らしだ。母は自宅近くの畑で、日頃食べる分の野菜を作り、保育園でお手玉などを教え、ゲートボールをしたり下田温泉に行ったりして、毎日を明るく過ごしているようだ。

私は中学を卒業して実家を離れ、本渡の中山口に下宿していたが、母は季節が変わるごとに箱一杯に詰めた小包を送ってくれた。春先にはじゃがいも、夏の終わりには米、秋にはカライモやミカン、冬はつきたての餅などだ。届いた小包を開け、下宿のおばちゃんと御所浦出身の先輩と一緒に食べ、楽しい時間を過ごした。すると次の週には、御所浦から脂が乗った鯛と太刀魚が送られてきた。小包は仲間との交流を深めるきっかけも一緒に届けてくれた。そう気

が付いたのはつい最近だ。

天草を離れて28年が経った今でも、母は私に小包を送ってきてくれる。この年末の小包には、つきたての餅と孫2人への早めのお年玉が入っていた。うれしそうに小包の中を出す子供達の傍らで、私は荷造りする母を思いつかべていた。送ってきてくれる野菜や餅は皆母が作ったもので、どれも水をやり、生育さ

走馬灯のように 想いだす故郷

葦原 設二
(関西・高12)

昭和20年4歳の時、父の仕事の関係から祖父父母の住む五和町(手野村下内野)へ、今の韓国の港から船に乗って来ました。楠浦の港に二江の馬場さんが迎えに来て家まで馬車に乗せて連れてきてくれました。当時の引揚者です。

終戦の年は幼少期の始まりで、田舎の人達ともすぐに仲良くなりました。麦わらの屋根の家で風呂は家の外の五右衛門風呂でした。家の中には囲炉裏があり、

せたもの。今年も元気でたくさん採れたよという気持ちで小包には詰めてある。

そしてふと思った。大事に育てた野菜を荷造りして都会に送ることと、15歳まで育てた私を本渡や東京へと送り出すことは、母にとつてほとんど同じことかも知れない。きつと母は、送った野菜も子供も、いつも気になつてに違いない。餅と餅の間には「夏休みに天草に遊びにおいで」という孫あての手紙が入れてあった。小包はふるさとの母そのものだ。



寒い冬は兄弟が暖を取りながら天草弁を覚えていきました。床の下には芋が沢山入る芋窯があり、家の床は雨の降る前はびしょびしょになり、明日の天気は雨とわかるくらいでした。家中が煙りに包まれ、目が沁むくて涙で寝る前は大変でした。兄弟5人が一つのこたつに足を突っ込み寝る毎日でした。夏は蚊が多く蚊帳の中でした。

下内野は手野の方から二江の方に川が流れており、子供の頃小川でシジミを採ったり、竹棒の先に針につけたミミズを石の間にに入れて食いついたウナギを穫ったり、夕方になるとよもぎとミミズを入れたウナギ籠を流れて反対向きにしかけ、翌朝籠

の中を見に行くのが楽しみでした。山には茱萸(ぐみ)の実がたくさんあり、木登りして取って食べました。又、山にはたくさんさんのメジロがいて、みんなでもちの木をはいで石で叩いて鳥もちを作り、おとり籠の近くに鳥もちを巻きつけた枝をおき、メジロの泣き声をまねて呼び寄せ、枝にとまてひつついたメジロを取って遊びました。

主食は米の中に麦が半分はあったごはん、おやつは毎日からいも(サツマイモ)でした。弁当はごはんの上に卵でまぶしたグリーンピースの毎日でした。物不足で、長靴はなく雨の日は高下駄で油紙の傘でした。二江町に通詞島があり、そこから魚を行商に来てくれていました。当時、島は陸続きでなかったもので、はしけに乗って島に遊びにいつては浅瀬でタコをとって帰って来るのが楽しみでした。今では島の周辺はイルカウォッチングの観光客で賑わっているようです。

手野小学校から内野中学校(手野小、城河原小併合)そして天草高校へは片道12キロを2年生まで自転車通学、3年生からはバス通学でした。二江、坂瀬川、志岐、富岡の人達も乗ってきました。今思うに高校卒業までの15年はあつという間でした。終戦から70年、今は遠く離れた地で暮らしていますが、いよ

天高18回生(昭和41年卒) 古稀同窓会の案内

我々も来年(平成28年)古稀を迎える事となりました。今まで同窓会は、天草で開催していましたが、今回は「熊本」で開催します。予定よろしくお願ひします。

期日：平成28年6月6日(月曜日)12:00～
場所：熊本ホテルキャッスル

古稀同窓会実行委員会(委員長：小島義博)
問合せ先：090-5740-0026(大崎英臣)

いよ人生のバックストレッチにさしかかってきました。元気で暮らしていますが、一度でも多くの故郷の兄弟や同窓生に会いに行きたい気持ちです。子供時代は天草でも他の地域のことはわかりませんでした。車社会の昨今天草一周も短時間で行けるようになり、素晴らしいきれいな景色を堪能できるのが楽しみです。

小・中は統廃合でなくなり、天草高校だけが母校になってしまいました。来年は創立120周年とのこと、永遠に続いていくことを願ってやみません。

支 部 便 り

関東支部

支 部 長 松尾 和幸(高16)

事務局長 山中 麗子(高21)

総会

平成26年10月26日(日)

スクワール麹町

総会参加者数 93名



「スクワール
麹町」にて第
29回関東あま
たか会総会・
友好の集いを
開催致しまし
た。

来賓として

前田三千治天草高校校長先生を
始め、図南会、関西支部、中京
支部及び関東巴水会から会長等
の皆様に、遠路、ご多忙中にも
拘わらず、ご臨席を賜りました。
今回は、天高15・16回生の古希
同期生会と重複したため、出席
者は残念ながら100名に至り
ませんでした。

総会では、昨年4月に着任さ
れた前田校長先生に来賓祝辞を
いただきました。友好の集いは、
初めての企画として28回生学年

関東あまたか会・友好の集い



幹事の江頭さんのフルート演奏
でスタートしました。曲目の選
定も良く好評でした。今年は10
月25日(日)スクワール麹町で
開催します。

関西支部

支 部 長 葦原 設二(高12)

事務局長 山中良三郎(高18)

総会

平成26年7月6日(日)

大阪キャッスルホテル

総会参加者数 154名

平成26年7月6日(日)、今回
から、大川沿いの緑が眼下に映
える大阪キャッスルホテルに会
場を移し第27回総会を開催しま
した。

母校の前田校長、本部の横山

中京支部

支 部 長 原田 登(高12)

事務局長 福田 和幸(高28)

総会

平成26年6月15日(日)

名古屋ガーデンパレス

総会参加者数 41名

第33回支部総会は、6月15日
に恒例の名古屋ガーデンパレス
で開催されました。本部図南会・
光延隆三副会長、母校・奥園栄
純教頭、関東支部・松尾和幸会
長、関西支部・葦原設二会長に
ご臨席を賜りました。懇親会で
は、イベントとして関東支部事
務局長 山中麗子氏(高21)を
お招きし、演題「夢をカタチに」
消防という男社会に飛び込ん

副会長、関東支部の松尾会長、
中京支部の原田会長、熊本支部
の大崎事務局長、また済々黷関
西地区同窓会の栗山会長の友情
参加を頂きました。関西関係で
は熊本県大阪事務所の本坂所長、
関西熊本県人会の牛島会長、関
西天草郷友会の波戸内会長にも
出席頂きました。又、関西在住の
現役大学生・野下創史君(66回
卒)も出席してくれ、参加者数
総数154名を記録しました！
幾つになっても心は青春・天高
生！

でくをパソコン・プロジェクタ
ー・スクリーンを駆使して、40
分に亘り熱心に講演していただ
きました。来る平成27年の総会
は6月14日に開催します。

ここ数年参加者が減少の一途
を辿っています。

今年は根
本的に打
開すべく
先ずアン
ケートを
取ること
から始め
て、全般
に亘って
皆さんの
御指導を



受けながら改革しようとしてい
る所です。



株式会社

フジコー

取締役会長 原田 龍雄
(高11回卒)

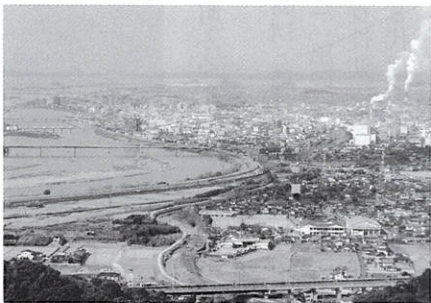
天草市亀場町亀川1704-1 ☎0969-24-2308

八代支部

幹事会
平成27年3月22日(日)
場所 北部コミュニティーセンター
総会参加者数 8名
報告者 長島 光男 (高14)

隔年開催となっている支部総会が本年となっており、それに向けた第一回幹事会を開催いたしました。久し振りで集まった幹事の顔は明るく元気そうである。

心しました。が、近況を語ってもらおうと、手術入院した、私も同じ、骨折した、突然肺炎になった等とそれぞれ年令相応の現象が現れているのには驚きました。一番の悩みの参加者問題は、新同窓会名簿で会員増加が期待され、工夫した招待状で参加増につなげる、



地方の時代です。願わくば県都ばかりでなく県南の八代地区で「起業する」「勤務を希望し永住する」「嫁にくる」といった若い力の天高生の人口流入を望んでいるところですね。

総会を10月31日に実施する等を決めました。

恒例の卓話、堤田賢一氏(7回)の紹介で、後輩の毎日新聞記者出身、現在RKB毎日放送株式会社報道制作センター長の飯田和郎様に、「中国とどう向き合うか九州から考える」と題して、ご講演頂きました。約10年の中国勤務での取材秘話、

第22回福岡支部同窓会を平成27年5月23日(土)に、同窓会本部の海江田雅靖会長、母校の前田三千治校長、熊本県福岡事務所の岡村郷司所長、卓話講師のRKB毎日放送K&L取締役の飯田和郎様と会員28名の参加で開催しました。



総会を清水澄生氏(13回)に務めていただき、4名の来賓の方々はじめ会員の皆さまのご協力にて、無事終えることが出来ました。今年は天中の先輩の参加がなかったこと、若い人達の参加が相変わらずなかったこと、当支部の悩みのトンネルは今年も抜けられませんでした。(追伸・今年は39名の欠席者メッセージが有りましたので、総会資料に綴じ、配布致しました。)

福岡支部

支部長 野角 章 (高16)
事務局長 園田 文孝 (高21)
総会
平成27年5月23日(土)
頤和園(博多駅前店、大博多ビル12F)
総会参加者数 32名

恒例の卓話、堤田賢一氏(7回)の紹介で、後輩の毎日新聞記者出身、現在RKB毎日放送株式会社報道制作センター長の飯田和郎様に、「中国とどう向き合うか九州から考える」と題して、ご講演頂きました。約10年の中国勤務での取材秘話、

記者魂、民間交流の大切さ等をお話し頂きました。懇親会は、山下吉英氏(4回)の音頭による乾杯にて、懇談がはじまり、楽しい2時間はすばやく過ぎ、全員による校歌斉唱、参加最年少の熊本高志氏(47回)による万歳三唱、中島正勝氏(9回)の「博多一本締め」にて閉会しました。

熊本支部

支部長 石井二三男 (高18)
事務局長 大崎 英臣 (高18)
総会
平成26年9月27日(土)
熊本交通センターホテル
総会参加者数 153名



平成26年度熊本支部同窓会、本部より海江田会長はじめ5名、八代支部より長島支部長、関西支部より本山氏、天草高校より前田校長はじめ6名の臨席を賜り、総勢153名(過去最高)で開催致しました。活動・会計報告後、同窓生4名(桐田、田中、泉、赤尾さん)による素晴らしい演奏を楽しみ、中西常任相談役の乾杯で懇親会をスタート。今回は31回生から52回生の参加が28名あり今まで以上に盛り上がり、夫々の学年、個人で歌や踊りを披露頂きました。和気藹々の中、最後に天草高校校歌を全員で斉唱し閉会しました。

空調・給排水・電気・太陽光発電工事等

天草設備株式会社

天草市佐伊津町3413-9 ☎(0969) 23-1241

住まいコンシェル ライファ天草は4月に生まれ変わりました

住まいのことなら **LIXILリフォームショップあませつ**

天草市港町22-9 ☎(0969) 22-1700

代表取締役 横山 英生 (高20回卒)

各種保険・石油製品・事務機・事務用品販売

株式会社みのり商事

天草郡苓北町上津深江390 ☎(0969) 37-1121

各種高圧ガス・溶材器具一式

株式会社アコー

天草市佐伊津町3413-9 ☎(0969) 27-5811

同窓生は今

受賞

○福本 守さん(高2・元公立中学校長)
瑞宝双光章

受賞

○梶原 嘉辰さん(中35)
『天草ぶらりスケッチ点描』等

で天草出版文化賞
○福島 英次さん(高27)
文部科学大臣優秀教職員表彰(勤務したすべての学校で生徒指導に携わり、多大な功績をあげた。)

○山田 和子さん(高26・中山)
作品『遙(はるか)』[第69回天草美術展]で会員賞を受賞

○前田 博子さん(高55)
作品『金魚鉢』が「陶磁器の島・AMAKUSA陶芸展」でグランプリに輝く。

活躍

○上中 満さん(高8)

27年2月本町ふるさと美術館で土木作業や子守などの天草のかつての暮らしの風景を発泡スチロールの端切れで作ったジオラマ約300点を展示。

○確井 弘幸さん(高8)

「能面の世界」を本町ふるさと美術館で開催。

○山口 睦子さん(高14・鳥井)

短歌会「みさき」と「風の舎」を主宰する山口氏が女性初の天草文化協会の会長(8代目)に就任。

○金子 晴久さん(高20)

26年10月に開催された「ねりんピック栃木2014サッカー交流大会」に熊本オールドキッカーズ(KOK)の選手として出場。

○泉 眞喜夫さん(高23)

五和町出身で元小学校長。公民館長になったのを機に地元のPRソング『五和讃歌』を作詞作曲し歌っている。5地区の特色や名物を盛り込んだ歌が反響を呼び熊日新聞に掲載される。

○大久保美喜子さん(高24・井出口)

世界最古のフランス美術公募展「ル・サロン」で切絵作品「童女教訓鏡」が入選。「熊日緑のりボン賞」

○入部 一代さん(高24・松本)

『ひたすらの記』(熊本教販)出版。定年(図書館司書)を機に、新聞投書やいろいろな場での発

表原稿をまとめられたもの。

○若山 茂さん(高25)

27年1月に鶴屋百貨店本店・天草店で「渡欧油絵展」を開催。崎津集落や倉岳の風景、パリの街並みなど油絵40点を展示。

○山口 誠治さん(高33)

「あまくさ生きがいネット」を主宰する山口氏が天草八十八カ所霊場巡りの指南書を作成。霊場一覽や参拝のマナーなどを解説している。

○ミカ・ストルツマンさん(高35・小場佐)

26年9月12日、県立劇場にて「くまもと赤の音楽祭」を開催。演出が小山薫堂さん、ご主人であるクラリネット奏者のリチャード・ストルツマンさんと共演。

○大塚 貴洋さん(高47)

27年1月天草本渡青年会議所のメンバーらでつくる大塚氏が代表の「天草太鼓推進会」が天草太鼓復活40周年記念公演を開催。

○高田 陽子さん(高47)

イタリアミラノ在住、毎年、故郷天草にてオペラ歌手としてコンサートを開催。2013年にはパチカンに招待され、仏教徒としてローマ法王に謁見。

○天路そらさん(田中舞夏 天草高校入学1年5組)

2011年宝塚音楽学校への合格を機に転校。予科・本科を卒業。2013年雪組公演(ベル

サイユのばら)で初舞台を踏む。

2014年星組に配属され全国ツアー参加。「風と共に去りぬ」熊本公演に出演した。今年も全国ツアーに選抜決定。6月27日(土)北九州ソレイユホール、6月28日(日)福岡市民会館において「大海賊」ロマンティックレビュー」に出演。

○山崎 禮子さん(高21・中村)

2年前に天草に帰郷。27年6月本町ふるさと美術館にて北海道から沖縄まで7年に渡って撮り続けた『日本の風景』写真展を開催。

○「田中憲一先生と教え子たち」展

27年4月24日〜2週間荅北町如水館で開催された。故田中先生より昭和34年〜10年間にわたる美術部員としてご指導頂いた教え子の内プロとして美術にかかわっている人や趣味として続けている人が現在までに作成した作品を展示し好評を博した。

役員のご逝去

○吉永 一郎さん(高7)

前同窓会長・現顧問
27年5月

○野角 章さん(高16)

現福岡支部長
27年6月

同窓会に多大なご尽力をいただきました。ご冥福をお祈りします。

ふる里天草での慶弔に真心をこめてお花をお届けします。

(株)光延農園

天草市古川町11-7
TEL 0969-22-5284

**生花部
フラワートレイル**

天草市中央新町14-10
TEL 0969-27-6227
ネットショップ
TEL 0969-24-7979

Amakusa Livtel Kai-shin

和み宿 新和荘 

横島 龍一 (高33回卒)

熊本県天草市港町11-19
TEL: 0969-22-3653
http://shinwasou.com/

よか旅 よか味 よか宿



天草を上島と下島にわたる瀬戸海峡のほとり
天草シーサイドホテル
熊本県天草市亀岡町74-3
TEL 0969-22-0100 www.amaxa.jp



串港



柳港



岩谷港



棚底港



御所浦港



湯島港



姫戸港



阿村港



松島港



宮田港



大道港



龍ヶ岳港



島子港 (右奥は「対岳楼」のあこう)



上津浦港



栖本港 (船に青サギがいる)



赤崎港



大浦港



学校だより

天草高校の今

校長 前田 三千治



同窓生の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

私も天高勤務2年目となりました。1年間暮らしてみても、天草は夏は涼しく冬は暖かくて生活しやすいところということが分かりました。今年度は、分校である天草西校が3月末で閉校したため、本校の全日制と定時制、分校である倉岳校の三つを担当する校長となりました。本校は今年で創立119年目となり、いよいよ来年度は創立120周年記念式典を行うこととなりますので、その準備を同窓会と一緒に進めて行きたいと思っています。

さて、天高の近況ですが、全日制の進路面では九州大学1名、熊本大学19(16)名、鹿児島大学7(5)名、佐賀大学8(5)名、宮崎大学6名、熊本県立大学12(12)名等、国公立大学に27名が合格しました。なお、(一)内の数値は現役生の実数です。また、私立大学でも青山学院大学、関西大学をはじめとして延べ数で227名の生徒が現役で合格しました。専門学校は看護学校が主であり、就職は公務員が主です。

平成26年度の部活動の主な活躍としては、男子ソフトボール部が選抜大会県予選で優勝して3月に行われた全国大会では3位になりました。また、インターハイには陸上部が男子砲丸投げで出場しました。九州大会には、男子ソフトボール部、陸上部(男子砲丸投げ、女子やり投げ)、水泳部、柔道部(新人戦女子個人ベスト8)が出場しました。文化系では、書道部が全国総合文化祭に県代表として出場しました。吹奏楽部は県大会4年連続金賞を果たし、個人でもテナーサクソ部門で最優秀賞となつて今年度の県総文祭で演奏をしました。他、各種コンテストでも数多く入賞しています。このように昨年度も生徒達は、勉強と部活動を両立させながら充実した高校生活を送っていることを示しました。

平成27年度は、全日制の入学人数(定員240名)が238名(男子111名、女子127名)であり、全校生徒705名(男子300名、女子405名)でスタートしました。天草地区の高校も生徒数の減少に伴い、再編・統合されたところがあります。また、今年度から天草高校の寮(啓明寮と桜華寮)と天草工業の寮(旧本渡市にある高校(天草高校、天草工業高校、天草拓心高校)の合同寄宿舎となるなど、様変わりしてきています。

新たな取組として、ますますグローバル化する社会に対応できる人材育成の一環として韓国の土坪(トピヨン)高校との交流を始めます。これから天草高校の良さをしっかりとPRしながら生徒確保に努め、古里と母校を誇りに思う世界に通用する人材を育てていきたいと思ひますので、同窓生の皆様方の御支援をよろしくお願いいたします。

種別	合格者(延べ数)			進路決定者(現役)		
	現役	浪人	計	男	女	計
国立大学	44	9	53	24	20	44
公立大学	23	1	24	5	11	16
国公立合計	67	10	77	29	31	60
私立大学	227	16	243	56	50	106
大学学校	0	-	0	0	0	0
短期大学	16	-	16	0	12	12
専門学校	21	-	21	0	14	14
高等看護	25	-	25	7	10	17
その他	11	-	11	3	3	6
就職	2	-	2	2	0	2
官庁	16	-	16	9	8	17
企業等	385	26	411	106	128	234
浪人その他						
合計						

☆本年3月卒業生の進路状況

■進学209名+就職・公務員8名+未決定17名=234名

平成27年度 主な学校行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
始業式・入学式	天草地区体育大会・体育大会・中間考査・育友会総会・教育実習	県高校総体・総文祭・身体測定・体力テスト・生徒会選挙・期末考査	土坪高校交流会・クラスマッチ・終業式・夏休み課外授業・中学生体験入学	家庭訪問・三者面談	始業式・天高総合大学・中間考査	文化祭	期末考査	クラスマッチ・終業式・冬休み課外授業	始業式・センター試験・修学旅行	マラソン大会・学年末考査	卒業式・高校入試・クラスマッチ終業式・春休み

定時制コーナー

平成27年度 熊本県定通体育大会 2競技全国大会出場決定

心配された天気にも恵まれ、6月7日(日)に熊本市の湧心館高校、熊本工業高校、熊本市総合体育館を会場に平成27年度熊本県定時制・通信制総合体育大会が開催されました。

今年度、天草高校定時制からは、男女バドミントン(男子3名、女子3名)と女子卓球(3名)の2種目に計9名が出場しました。

バドミントンでは、昨年度ダブルスで準優勝した4年生の松下君が、今年度はシングルスで3位入賞。昨年度に続き全国大会への切符を手に入れました。

卓球では、前田校長直伝の指導を受けた3名全員が1回戦を突破し、中でも3年生の池田結和さんは決勝まで勝ち上がり、準優勝の快挙を成し遂げました。また、3人のポイントの合計得点で団体優勝を獲得し、4年生の平島さん、3年生の池田愛世さん、池田結和さんの3人も全国大会への切符を手に入れました。

当日は、選手以外の生徒も早朝に天草を出発し、各会場で職員と共にしっかりと応援してくれました。この大会を通して、選手や応援の生徒たちは、日頃の学校生活では得られない貴重な経験ができたと思います。残念ながら全国大会に出場できなかった生徒もあまり表情には出さず、静かな闘志を胸に秘めて最後まで一生懸命頑張っていました。

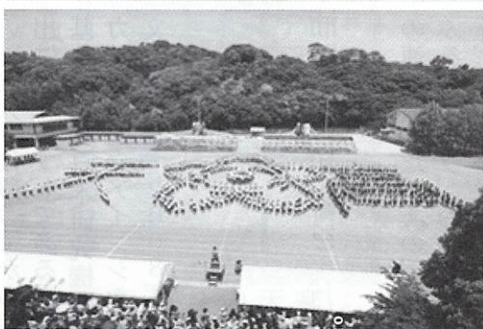
8月に東京・神奈川で開催される全国大会に出場を決めた生徒たちは、天草高校、熊本県の代表として、他の生徒の分までしっかりと頑張ってくれることを期待します。今後とも、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。



第70回 天草高等学校体育大会

前日の準備は雨天となり、開催が心配されましたが、大会当日は晴天に恵まれ、第70回記念大会を成功裏に終えることができました。今年の体育大会のテーマは「竜攘虎搏 For Now and Forever」。入学したての一年生を二、三年生がしっかりとリードして、全校生徒一丸となつて取り組むことができました。

紅団が白団の二連覇を見事阻止して総合優勝を勝ち取りました。勝敗こそついたものの、両団僅差で白熱した戦いを見せ、観客も大いに楽しむことができた体育大会でした。



☆ 熊本県高校総体総文祭

〈総体〉

●陸上 女子やりなげ6位 宮下 文圭 (35 M 86)
※南九州大会へ出場しました。

●弓道 個人戦 決勝進出 津田 匠

●柔道部 個人60 kg ベスト8 原田 悠史

●男子ソフトテニス 団体戦 ベスト16

●女子ソフトテニス 団体戦 ベスト16 松下 大記・和田 知也

●大会標語最優秀賞 山崎うらら 「文化に華ひらり」

●吹奏楽部 永野 裕喜 テナーサクソ独奏

●書道部 橋本 美海 杜甫詩「春夜喜雨」「春望」

●美術部 大塚 美幸 「私の好きな物」

●写真部 優秀賞 吉中 美奈 「シャボン玉に包まれて」

●演劇部 入賞 岡部嘉津江「虹」

●総体では、陸上競技部が南九州大会への出場権を獲得。更に、柔道部は一年生の生徒がベスト8に入賞しており、今後の活躍が期待されます。

総合文化祭では、2年生の山崎さんが大会標語の最優秀賞に選ばれ、総合開会式で表彰されました。また、文化部生徒の活躍も多く見られました。吹奏楽部の発表、写真、書道、美術の作品展示、さらに、演劇部が城南地区代表として創作劇を上演しました。

運動部、文化部ともに日頃の地道な練習の成果を十分に発揮することができました。文武両道を目指す天高生を今後とも、応援よろしくお願いいたします。

人事異動

転出等

該当者なし

転入



田中 昇 (旧姓・井上)
(保健体育・高41)



末松 孝章
(数学・高57)

10年振りの天草高校で、新入生とともに多くのことを学ばせてもらっています。天草高校のために、全力で頑張ります。よろしくお願いします。

速い・安い・きれい

プリントオンデマンド 発信中



イナガキ印刷

〒863-0021 熊本県天草市港町13-20
TEL 0969-23-2066 FAX 23-2067
info@inagaki-print.com

文芸

(随想)

天草高校卒業後、紆余曲折を経て、最終的に文芸評論家で法政大学の小田切秀雄先生の門下生になり、先生の推薦で、沖縄の私立大学に勤務することとなった。日本復帰後10年目の1980年代初めのころである。沖縄は、見るもの、聞くものすべてと言つていい程珍しかった。初めて、海の中にも花園があることを知つたし、アカバナ(ハイビスカス)、ラン、ユウナ、梯梧の花など鮮やかな色彩の花々にそこら中、年中彩られる風景を楽しんだ。屋根を覆うブルーゲンピリヤの華麗さ。離島で、小道の両側の垣根に沢山の蝶が群がって作るトンネルの下も潜った。



沖縄とエジプト

浦田 義和 (高20)

「粗品」という話を聞いたことも見たことも無い沖縄だから、誰からも、彼からも、「上等やさ」「上等、上等」という言葉かけられ、随分癒された。そういえば、10年の間に、私が「これをやろうと思う」と言ったとき、殆ど一度でも「それは止めたほうがいい」と言われたことがない。いつでも「いいんじゃないの」と勧めてくれた。無論、借りていた首里当の蔵の瓦屋の前

ルもある2000キロの爆弾の撤去作業も(逃げ遅れて)間近で見たし、黄色地に黒の見事なハブも屋敷内で見つかり一〇番したこともある。湾岸戦争の時には勤務先の研究室の窓から米軍ヘリパイロットの眼とこちらの眼が合ったりした(ちなみに米軍ヘリの大学校内墜落事件は、私が沖縄を去って、随分と経ってからである)。

さて、沖縄の人、自然の温かさから身を切られるような思いで九州に戻って、佐賀の国立大学に移ってからのもう一つの思い出は、エジプトである。縁あって国際交流基金の海外日本研究機関支援事業として、カイロの国立アインシャムス大学に修士論文指導として2008年と9年に派遣された。

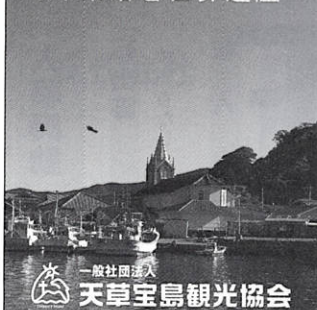
日本の勤務先の事情で3ヶ月の短期派遣であったが、2年続けたエジプト滞在は、また、楽しい驚きの連続だった。あの、頭からすっぽりとかぶるスカーフ、いわゆるヒジャーブの女性達、殊に既婚者に多い真つ黒の、眼だけ出

の連続だった。あの、頭からすっぽりとかぶるスカーフ、いわゆるヒジャーブの女性達、殊に既婚者に多い真つ黒の、眼だけ出

どりのヒジャーブなので、それなりに派手で、楽しい。なんでも、エジプトの男性は、太った女性を好むらしく(これは、誰に聞いたのだったか、そのエジプシャンは抱き心地がいいからと言った、女子学生もかなり太った子が多かった。でも最近西洋の影響で痩せ志向も出て来たらしいと、その地に長く居る日本人の日本語教師の男性が教えてくれた。ところで、最近、一部の非人道的暴力集団のせいで、イスラムのイメージが極端に悪いが、わたしの出会ったエジプシャンは、総じてフレンドリーで、明るく、おしゃべりでユーモアの好きな人たちである。欲望を制御し、弱者を救済しようとする教義の宗教が、安易に他人を殺害する筈がない。観光客に対して、ちよつとお節介に過ぎるのは、どうやら、就く仕事が無いからで、頭のよさそうな青年が、美術館でも、ピラミッドでも、ぶらぶら、うろろしているのは、気の毒であり、為政者の悪政だった。それで、「アラブの春」が来たのだが、折角の若者民主革命も、軍部の介入で振り出しに戻ってしまったと、日本に来ていた留学生が嘆いていた。彼ら若者の目指しているのは、硬直的で厳格な保守イスラム教国でもなく、軍事国家でもなく、民主イスラム教国なのだと話してくれた。彼等は、「三日天下」であった。しかし彼等は諦めてはいない。

現在、沖縄の米軍基地返還の見とおしは立っていないし、また日本では、全国原発の廃炉の道筋も立っていない。更に、非正規労働は増え続け、若者が生きにくい世の中になっている。私たち、戦後の繁栄を享受した大人に課せられた、世界の若者の未来を守る責務は重い。

長崎の教会群とキリスト教関連遺産
崎津集落を世界遺産へ



一般社団法人
天草宝島観光協会



イソップ製菓株式会社 天草市志柿町2713
代表取締役 菅原一充(高23回)

(社福)敬信会 大矢崎保育園
園長 奈良崎孝一郎(高20)
〒863-0001
天草市本渡町広瀬133-6
TEL 0969(23)9111
FAX 0969(23)9115
奈良崎動物医療センター
院長 奈良崎 和孝(高46)
〒863-0001
天草市本渡町広瀬133-5
TEL 0969(22)2254
FAX 0969(22)2267
Aya小児矯正歯科クリニック
院長 佐々木 文(高48)
〒863-0001 (旧姓 奈良崎)
天草市本渡町広瀬176-28
TEL 0969(66)9170
FAX 0969(66)9169

日本の最南端沖縄より

戸田 澄之（メディカルハーモニ・高26）



平成2年
に沖縄に転
勤してから
24年にな
ります。私の

父は天草町高浜で漢方を主として薬局を開局していました。66歳で他界し継承するかを協議し、継承しないという事で前職の会社に残りました。平成10年に前職の製薬会社を退職し、当時住んでいた沖縄で開局しました。現在沖縄本島に4店舗、福岡市に1店舗の調剤薬局を経営しております。

沖縄では、本土から来た人を内地人（ナイチャー）大和人（ヤマトンチュー）と呼びますが、文化風習食事も違います。気候も亜熱帯で、夏は内地（本土）と同じ様に暑いですが、冬は内地の秋の様な気候で手足がカじかむ事はありません。内地から転勤してきた私もカルチャーショックの洗礼を受け、そのお陰で日本と沖縄の違い、日本と世界（他国）との違いが何となく感じられるようになりました。俗に言う「日本人の常識は世界の非常識」というものです。

米軍基地の74%が沖縄に集中している報道がよく聞きますが、

青森県三沢、神奈川県厚木・横須賀、山口県岩国、長崎県佐世保にも米軍基地が存在している事を含め74%という数字からして莫大な基地が一つの県に存在している事の異常さを改めて感じます。東南アジア、特に中国に近い沖縄で尖閣諸島問題は間近な事件ですが、私が内地に住んでいたらどこか遠い所で起きている事件ぐらいの認識だったでしょう。海部総理大臣時代湾岸戦争が始まり、テレビでインベーダーゲームの様な映像が流れていましたが、国道58号線で38ミリ機関砲を何十砲と那覇軍港に運搬している光景を今でもはっきりと憶えています。

東北福島県の問題、熊本県水俣市の水俣病問題等々含めて宜野湾市普天間基地移設問題など、何か共通しているものを感じます。その県だけの問題ではなく日本全体で負担の軽減、問題の解決・妥協点を考えなければならぬと思います。平成2年当時沖縄県人口は128万人でしたが、今では140

万人。東京、福岡、沖縄が全国で人口が増えている県です。定年退職を機に移住される方が多いのと、沖縄の魅力に感化されて移住してくる若者も多いと聞きます。

天草高校で学んだ事、教えていただいた諸先生、先輩・同級

今思ふこと

丸田 光二（平成17年度育友会会長）



あれは、いつ頃の事だっただろう。親元を離れ、ただばく然と過ごしていた学生時代。勉強よりアルバイトに精を出していたころ、東京山手線の車内で、ふと懐かしい言葉を聞いた気がして車内を見廻すと、見覚えのある制服が目に入った。えっ！

父は私を連れて何軒かの家を探ねた。次の日、指定された場所に行くと、そこは面接会場だった。そこで、私の仕事が決まった。

今まで、父の決めた道を歩いて来た。卒業したら都会で自立をと思っていたのだが、優柔不断な私をレールに乗せ、後から思いきり、け飛ばした父、そんな父も、約一年間の入院生活の後、旅立ってしまった。もっと生きて、家のこと、家族のことを、もっと！もっと！！見守り続け、私に教えたことがたくさんあったのではないだろうか。

親は生きている限り、子供を見守っていかねばならない。子供は見守られることにより育ち、一人前になっていくと言います。今、思うと、私を最後まで見守り、そして、レールに乗せ、け飛ばしてくれた父に感謝しています。

平成15年、娘の入学と共に育友会役員として活動し、17年からは、会長を仰せつかりました。天高出身でない会長は、私で二人目とのことでしたが、役員の皆様や学校関係者の皆様に支えられ、無事大役を果たすことができました。一年間緊張の連続でしたが、「子供たちのために何が出来るか」を第一歩に考え活動したのを覚えています。

これからも、今まで以上に、天高と天高生が大きく羽ばたいていくのを見守り続けます。全世界で活躍されている同窓生の皆さん、故郷天草や日本のどこかで、天高の制服を見たら声をかけて下さい。今度は私も、大きな声でエールを送ります。

総合建設業

 共栄建設株式会社

本社 熊本県天草市港町8-1
TEL 0969-23-1188

鹿兒島支店 鹿兒島県出水郡島崎蔵之元880-1
TEL 0996-88-5217

上天草営業所 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸3226-28
TEL 0969-62-1639

絆

学年同窓会 特集

天高県立学校関係者同窓会

平成27年2月14日
熊本市 水前寺共済会館

この会は27年前から時折開催していました。平成16年に開いたあとは10年間開催しておらず、当時お世話しておられた田口元次先生(天草西校)から、「今年は10年ぶりになんとか開催してほしい」と依頼を受け、バタバタでしたが、県内の県立学校関係者の名簿を作成し、42名の先生方の参加で開くことができました。発起人を代表して、赤城陽一先生(松橋高校)の挨拶の後、同窓会が始まりました。あ

つという間の2時間でしたが、最後は若いも若きも肩を組み、「塵かん遠く隔てたる」を大合唱し、宴を終えることができました。来年度は、天草での開催を予定しています。

代表幹事 福島英次



高16回卒古希同窓会

平成26年11月12日
シーサイドホテル

まずは記念写真でスタート。総数約320名中80名のシルバ―美男女が最高の顔で、実行委員長の挨拶後に物故者への黙祷。発起人代表挨拶、乾杯、飲

談、余興に入る。各テーブルでは、美味の食にも増し、話の花が満開。在住地域のグループのステージ発表は、各々のカラー發揮で大喝采を博する。『塵かん遠く隔てたる』の大合唱で50年前が甦り、感慨も一入であった。万歳三唱、閉会も予定を大きくオーバー。

高25回卒還暦同窓会

平成27年1月2日
ホテルアレグリアガーデンズ天草

恩師3名、同窓会海江田会長を含め105名の参加で天草高等学校第25回生還暦同窓会を開催しました。

当日は、希望者36名の諏訪神社での還暦厄払いの後、正午より同窓会が始まりました。記念撮影、開会、物故者への黙祷と続き、天草市副市長の金子邦彦君が代表幹事挨拶を行いました。余興では、幹事たちによるハンドベルの演奏やカラオケ大会、

お楽しみ抽選会など盛り沢山の内容であったという間の3時間でした。最後に、校歌「塵寰遠く」を合唱し同窓会を終了しました。丁度、還暦という人生の節目の同窓会だけに、夫々のこれまでの歩みそしてこれからの人生等々、様々なことを語り合えた一時でした。来年には、天草高校大同窓会のメイン幹事が回ってきます。その時の再会を誓い、名残を惜しみながらの散会となりました。

松尾 博之

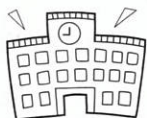


定時制20回卒

平成27年3月7日
りょうう

私達は、定時制の卒業生では最も多い45名の同級生であった。平成10年の同窓会以来、今回は大阪より同級生が帰省することになり、急遽同窓会を開いた。

参加者は海江田先生をはじめ男性9名、女性7名。皆で近況報告をし、3時間というひとときを楽しく歓談した。皆と語らいながら高校時代の懐かしい面影が甦り、心も学生時代にもどっていった。幾つになっても友と過ごすあたたかさを感じた会であった。



本多 祐子



横田 早苗

天草市教育長就任祝賀会

平成27年2月7日
プラザホテルアネックス・ピア9

平成26年7月1日に天草市教育長に就任された石井二三男氏(高18)をお祝いしようと軟式庭球(ソフトテニス)部OB会による祝賀会を開催しました。

OB会長の堀田福男氏(高25)の呼びかけで県内のOB 29名がかけつけました。

発起人(会長) あいさつに続き、福岡周孝氏(高15)の祝辞、鬼海秀一氏(高18)の友人あいさつ、村崎輝氏(高40)による

花束贈呈、石井教育長のごあいさつの後、池田正三郎氏(高21)の乾杯で開宴しました。

久々の先輩後輩の集まりに、話も盛り上がりしました。最後は校歌斉唱の後、みんなで石井教育長にエールを送り、田中茂氏(高22)の三本締めで会を終了しました。来年のOB会での再会を誓い散会しました。



2015/02/07

天高12回卒(三五会) 同窓会

平成27年5月20日
シーサイドホテル

卒業10年目から5年周期で同窓会を天草で開催してきましたが、今回10回目をもって最後として5月に卒業55周年同窓会を行いました。

各地より86名が出席し、顔と名札で確かめ合い久しぶりの再会に大いに盛り上がり、50名の物故者に黙祷を捧げました。飛び入りの尺八演奏の音色に聞き入り、ジャンケン大会は各テ-

淋しいですが、これからも私の追想は変わらず続くでしょう。たくさんの方の色彩やかで笑顔溢れる思い出をありがとうございます。

女子寮の思い出

同窓生思い出を語る

平野直美
(高45・三宅)

空から望む天草は、黙って感動するにはとても勿体無く、飛行機で帰郷する折、毎回ついつい昂ぶってしまいます。まさに無意識が開放される時間です。反射した光、波と舟が静止して見える青竹色の海、絵画の様な鉄色の島々。やがて色合いの異なる何種類もの緑が織り成す馴染みある山々、天草本土が見え

てきます。本渡の街並みが見えて来た時、私は一際身を乗り出し、数分間の追想に耽るのが帰郷の醍醐味となっています。私が天高女子寮で過ごしたのは、天草エアラインが就航する数年前、元気でおおらかな寮母さんと、凛々しい眉毛がある立派な番犬君が居た時代です。入学して初めての部屋はとびつきり面白く楽しい先輩ばかりでした。一人称を矯正してもらったり、勉強やたくさんのお話を教えてもらいました。毎日笑いが絶えず、消灯後等、大笑いをこらえるのが大変な程、愉快な毎日を過ごしました。お風呂や洗濯の決め事、代々受け継がれてき

た某部屋の不思議な話、季節の行事、レバー入りのカレー、寮にかかってくるプライベートな電話、寮生での登下校、談話室の歴史を感じるコミック本、舎監の先生との話、寮母さんとの話や料理、皆のはんてんやサンダルの模様：思い出が溢れ出します。私は卒業間際まで寮で過ごしました。大人になり、寮暮らしの身内の送迎をする機会がありました。昔歩いた道を車で。中山口橋を渡り、第二グラウンドを沿い、やがて見えてくる白くて古い3階建ての寮。すぐあの頃にタイムスリップできます。今回、寮が移転との事で大変



新しくなった桃華寮



ブルの勝ち抜き代表を決め、優勝者に天草の掛け干し米と水産物、他の8人に掛け干し米を後日送りました。天草では最後の同窓会になる為出席者に寄付金を募り同窓会に寄贈しました。3年後の喜寿同窓会は京都で再会を誓い2次会へ三々五々に散りました。

江崎 恵



天草高校大同窓会ご案内



担当学年…高24回 (S47)、高29回 (S52)、高34回 (S57)

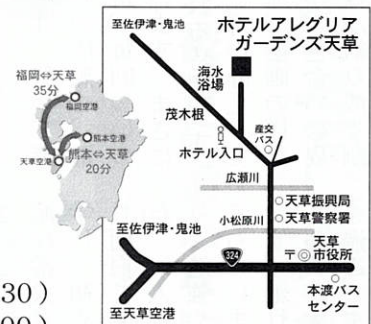
平成27年度天草高校大同窓会(図南会)を開催します。
今年も多数の御参加をお待ちしています。お誘い合わせの上、御出席
くださいますようお願い申し上げます。

平成27年 7月吉日 天草高等学校同窓会会長 海江田 雅靖

1. 期日：平成27年11月 7 日 (土)
2. 場所：ホテルアレグリアガーデンズ天草 (天草市本渡町広瀬996)
3. 会費：6,000円 (記念写真代込み)
4. 日程 (1) 受 付 (14:30~15:00) (4) 写真撮影 (16:00~16:30)
(2) 開会行事 (15:00~15:30) (5) 懇 親 会 (16:30~19:00)
(3) 講 演 会 (15:30~16:00) (6) 終 了 (19:00)

【講師】森岡 武さん(高24)

◇同窓会ゴルフ大会 期日：10月17日(土) 場所：ザ・マスタース天草コース



天草エアライン

0120-889-489 (固定電話から無料)
0969-34-1515 (有料)

申込方法

◇切：準備の都合上、大同窓会は10月5日(月)、ゴルフ大会は
9月7日(月)までお願いします。

- (1) 大同窓会、ゴルフ大会に参加される方は同封した申込み用紙に記入し
て葉書に貼ってお出してください。
- (2) 連名も可です。卒回、氏名をはっきりと書いてください。
- (3) 出欠の変更は10日前までに連絡をしてください。

天草→福岡→天草

便名	天草発	福岡着	便名	福岡発	天草着
	8:00	8:35		9:00	9:35
	18:00	18:35		19:00	19:35

8月24日(月)から新機種導
入まで当分の間減便となり
ます。



H27.4.29 熊本空港でホンダジェット見学

「ホンダジェット用エンジンの開発」 (造り技術で夢へのチャレンジ)

森岡 武さん(高24)

【プロフィール】

昭和28年7月生まれ。47年天草高校卒業。56年本田技研工業、鈴鹿製作
所機械課入社。57年本田技術研究所、試作技術課転勤。平成2年航空機工
エンジン造り機械加工担当。14年基礎技術研究センター、試作技術課長。
15年ホンダジェットアメリカ初飛行。18年ホンダジェット事業化決定、
エンジン認定業務。27年4月ホンダジェット日本初飛行、熊本空港で見学。
趣味、ゴルフ・ハイキング

告知板

☆ご寄付をいただきました。

・三五会(高12)

・廣田 和史さん(高4)

・江浦 富香さん(高8)

・田尻 薫さん(高12)

・新田 眞之さん(高15)

・松野 信之さん(高17)

・鬼塚 正文さん(高27)

・鬼塚 久美子さん(高29)

☆会費と合わせて
ご寄付をいただきました。

・多賀 國實さん(中30)

・吉田登代子さん(女32)

・Kazumi Blackburn(高5)

・野田 幸子さん(高18)

・須崎 律代さん(高22)

☆ご逝去の連絡を受け、ご芳
志をいただきました。ご冥福
をお祈りいたします。

・大脇 勘治さん(中30)

・吉田アツ子さん(女28)

・宮崎記代子さん(高12)

会費納入のお願い

本会の事業は皆様からいた
だいた会費で運営しています。
同封の振り込み用紙で会費納
入のご協力をお願いします。
卒業して11年目の方には今
年から振込用紙を入れていま
す。

事務局連絡先

- ・〒863-0003
天草市本渡町本渡557
- ・TEL (0969) 24-3533
- ・開館日：毎週火曜日(9:30~16:30)
- ・Eメール tonankai@spice.ocn.ne.jp
- ・URL www4.ocn.ne.jp/~tonankai/

編集後記

今回も各方面から玉稿を
いただき、無事に紙面づく
りを進めることができました。
原稿をお寄せ下さった
皆さん、情報を提供して下
さった皆さん、どうもあり
がとうございました。それ
ぞれの地で活躍される姿、
そして故郷・母校に寄せら
れる熱い思いに胸打たれる
ものがあります。
私の街の今昔では、大矢
野・上天草の港を特集して
みました。改めて、天草は
海と共にある島だと思います。
吉永一郎前同窓会長が急
逝されました。一緒にオリ
ーブ園を巡ったことなどが
偲ばれ、寂しさひとしおで
す。御冥福をお祈りします。